

平成30年度第3回さいたま市地域医療構想調整会議 次第

平成31年3月13日(水) 午後7時45分～
保健所2階 第1研修室

1 開 会

2 議 題

(1) 病院プレゼンテーションについて

- ①大宮中央総合病院
- ②指扇療養病院
- ③大宮双愛病院
- ④東和病院

(2) 第6次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の報告について

- ◇未整備病床の状況について **【埼玉県保健医療部医療整備課】**
- ①自治医科大学附属さいたま医療センター
- ②西部総合病院
- ③さいたま市立病院
- ④岩槻南病院

(3) 平成30年度の地域医療構想調整会議の振り返りについて **【地域医療課】**

(4) その他

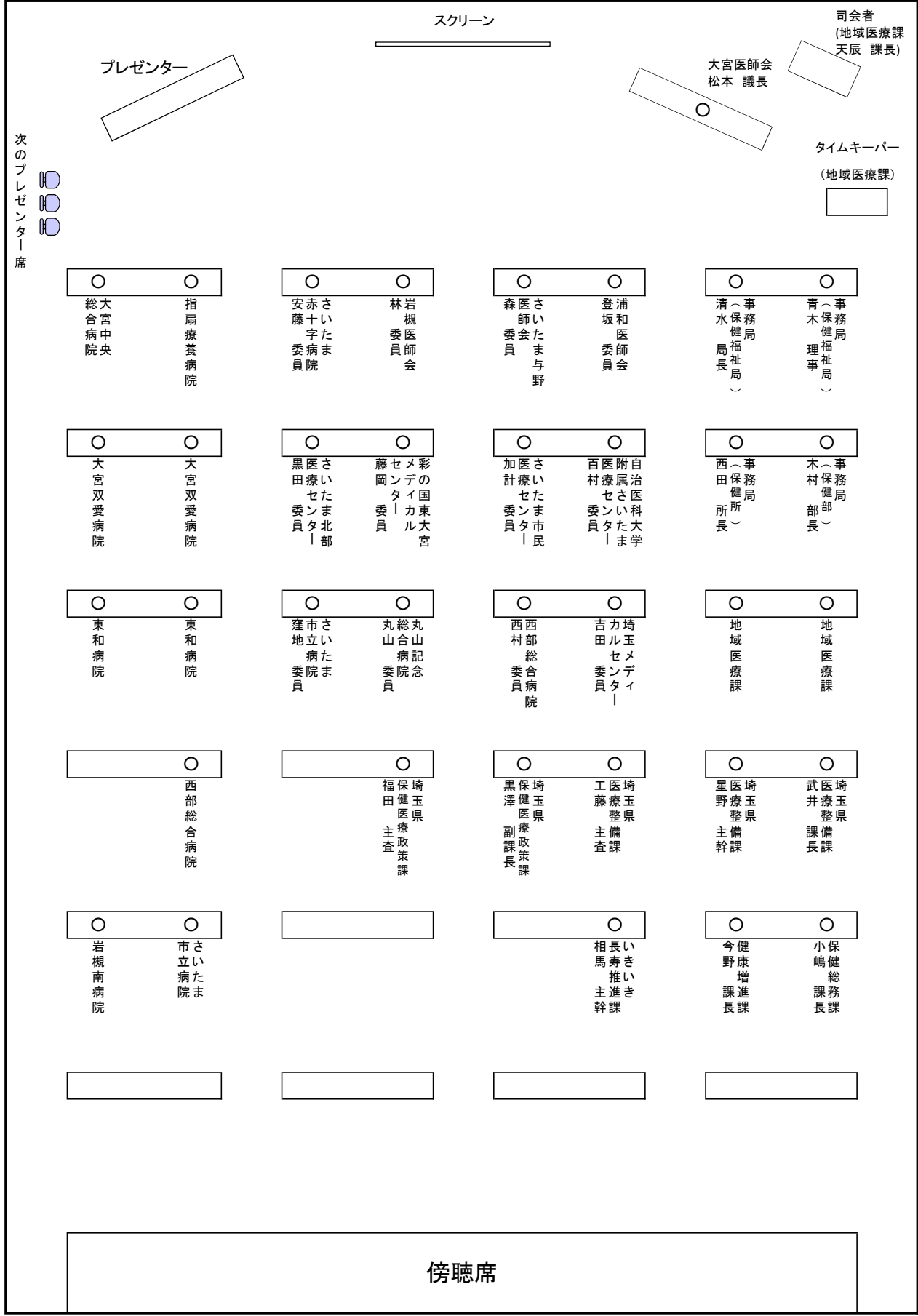
3 閉 会

《資料》

- ・次第
- ・座席表
- ・委員名簿
- ・資料1 病院プレゼンテーション出席者一覧
- ・資料2 病院プレゼンテーションの順番について
- ・資料3 病院プレゼンテーションに関するお願い
- ・資料4 病院説明書
- ・資料5 第6次計画に基づく病院整備計画一覧
- ・資料6 整備計画報告書の説明者一覧
- ・資料7 整備計画報告書の説明の順番について
- ・資料8 第6次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書
- ・資料9 平成30年度の地域医療構想調整会議の振り返りについて

平成30年度第3回さいたま市地域医療構想調整会議 座席表

保健所2階 第1研修室



スクリーン

プレゼンター

司会者
(地域医療課
天辰 課長)

大宮医師会
松本 議長

タイムキーパー
(地域医療課)

次の
プレゼンター
席

○	○
大宮中央 総合病院	指扇療養病院

○	○
安藤 委員 赤十字 さいたま 病院	岩槻医師会 林 委員

○	○
森 委員 さいたま 医師会	浦和医師会 登坂 委員

○	○	○
清水 局長 (保健福祉局)	事務局長 (保健福祉局)	青木 理事 (保健福祉局)

○	○
大宮双愛病院	大宮双愛病院

○	○
黒田 委員 さいたま 医療セン ター北 部	藤岡 委員 セメテ イカル の国東 大宮

○	○
加計 委員 さいたま 市民 医療セン ター	百村 委員 自治医 科大 学 附属 さい たま 医 学

○	○	○
西田 所長 (保健福祉局)	事務局長 (保健福祉局)	木村 部長 (保健福祉局)

○	○
東和病院	東和病院

○	○
窪地 委員 さいたま 市立 病院	丸山 委員 丸山 記念 病院

○	○
西村 委員 西部 総合 病院	吉力 委員 埼玉 セメ テイ ー

○	○
地域医療課	地域医療課

	○
	西部総合病院

	○
	埼玉 福田 主査 保健 医療 政策 課

○	○
黒澤 副課長 保健 医療 政策 課	工藤 主査 埼玉 医療 整備 課

○	○
星野 主備幹 埼玉 医療 整備 課	武井 課長 埼玉 医療 整備 課

○	○
岩槻南病院	さいたま 市立 病院

--	--

	○
	相馬 主幹 さい たま 市 進 進 課

○	○
今野 課長 健康 増進 課	小嶋 課長 保健 総務 課

--	--

--	--

--	--

--	--

傍聴席

さいたま市地域医療構想調整会議委員名簿

	所 属	職 名	氏 名
委 員	1 一般社団法人浦和医師会	会長	登坂 英明
	2 一般社団法人大宮医師会	会長	松本 雅彦
	3 一般社団法人さいたま市与野医師会	会長	森 泰二郎
	4 一般社団法人岩槻医師会	会長	林 承弘
	5 さいたま赤十字病院	院長	安藤 昭彦
	6 自治医科大学附属さいたま医療センター	センター長	百村 伸一
	7 さいたま市民医療センター	院長	加計 正文
	8 医療法人社団協友会彩の国東大宮メディカルセンター	院長	藤岡 丞
	9 地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	院長	黒田 豊
	10 地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	院長	吉田 武史
	11 医療法人聖仁会西部総合病院	理事長	西村 直久
	12 医療法人慈正会丸山記念総合病院	理事	丸山 泰幸
	13 さいたま市立病院	院長	窪地 淳
オブザーバー	1 順天堂大学	学長	新井 一

病院プレゼンテーション出席者一覧

	所属	役職
1	大宮中央総合病院	主任
2	指扇療養病院	事務長
3	大宮双愛病院	院長
		事務長
4	東和病院	事務長
		連携担当

病院プレゼンテーションの順番について

※病床数順となっております。

- 1 大宮中央総合病院
- 2 指扇療養病院
- 3 大宮双愛病院
- 4 東和病院

病院プレゼンテーションに関するお願い

さいたま市地域医療構想調整会議 事務局

会議の円滑な運営のため、以下の点についてご協力をお願いします。

- 病院説明書をスクリーンに映し出します。事務局がパソコンを操作いたします。
- 各病院のプレゼンテーション時間は5分間です。
- 4分経過時にベルを1回鳴らします。5分経過時にベルを再度鳴らしますので、プレゼンを終了してください。
- プレゼン終了毎に、質疑応答時間を設けております。
- 質問する場合は、お一人でいくつも質問せず、端的な質問をお願いいたします。
- 本日、プレゼンテーション予定の病院は、任意でご参加いただいております。すべての質疑にその場でお答えすることは難しいこともありますので、あらかじめご了承ください。

病院説明書

病院名	医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院					
所在地	さいたま市 北区東大成町 1-227					
病床数：						
現在（2019年）	一般病床		療養病床	合計病床数		
	165 床		90 床	255 床		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	120 床	45 床	90 床			
↓						
2025 年	一般病床		療養病床	合計病床数		
	165 床		90 床	255 床		
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	120 床	45 床	90 床			
<p>当院は、現在、急性期から慢性期までの病床を持っています。</p> <p>将来的には、回復期病床を充実し、手術後の患者さんや在宅復帰に向けた医療の提供を地域に密着して行っていきます。</p>						
診療科目：合計 18 科（内科・整形外科・脳神経外科等）						
平均在院日数：17.1 日			病床稼働率：94.2%			
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害		
病院の特徴：						
<ul style="list-style-type: none"> 救急告示病院として二次輪番体制に参加しています。 人工透析に力を入れており、外来及び透析専門療養病棟も設けています。 						
特徴的な治療 人工透析	血液透析だけではなく、総合病院として入院されている患者さんへ、急性血液浄化療法（肝不全・潰瘍性大腸炎・膠原病 等）である血漿交換・血液吸着・血漿吸着・時には心不全患者さんへのCHDF（持続緩徐式血液濾過）なども積極的に行っております。					
特徴的な診療科 耳鼻咽喉科	<p>専門領域は内耳免疫傷害疾患・内耳遺伝性難聴です。</p> <p>内耳自己抗体発現と内耳自己免疫病、メニエール病、遅発性内リンパ水腫、交感性迷路炎、低音型急性感音難聴との臨床的関連を検索しています。</p> <p>他県からも診察にわざわざ来られる方が多数おられます。</p>					
主な紹介元医療機関	さいたま医療センター					
主な紹介先医療機関						

当病院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は自治医大付属さいたま医療センターからの紹介入院が大半を占めております。 ・人工透析器は約 50 台設置しており予約制で行っています。 ・当院には急性期病床、回復期病床、慢性期病床があり院内完結型の医療の提供を努めております。 ・レスパイト入院の受け入れも数件行っております。 ・各病床ともつねに満床に近い状態になっています。
当病院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> ・病床の稼働状況を踏まえ、回復期病床（地域包括ケア病棟）を充足させ、在宅復帰を目指した医療の提供を行っていきます。 ・レスパイト入院の受け入れも積極的に行っていきます。 ・地域への役割として、二次救急医療は今後も継続して実施していきます。また、当院で対応できない医療については、連携体制をとる病院などへ丁寧に紹介していきます。
市民の皆さんへメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・当院は今後も、人工透析を中心とした医療を継続、充実していきます。 ・当院は、今後も二次救急医療を行っていきませんが、必要に応じて他病院等にご紹介することがありますので、ご承知おきください。
その他	特になし

記載内容に関する 問い合わせ先	大宮中央総合病院 医事課 電話番号：048-663-2501
--------------------	-----------------------------------

病院説明書

病院名	医療法人 三慶会 指扇療養病院					
所在地	さいたま市 西区 宝来 1348-1					
病床数：						
現在（2018年）	一般病床		療養病床		合計病床数	
	床		240床		240床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	床	床	床			
↓						
2025年	一般病床				合計病床数	
	床				240床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	床	床	240床			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>当院は240床の療養病床を有しています。医療管理のもと長期療養が必要な患者様が入院対象となります。</p> </div>						
診療科目：合計 3科（内科、皮膚科、リハビリテーション科）						
平均在院日数： 189日			病床稼働率： 95.3%			
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害		
病院の特徴：						
<ul style="list-style-type: none"> • 患者様、ご家族様にとって癒しのある空間、安らぐ時を大切にしています。 • 転換型老健「びわの葉」が併設しています。 • 二次救急である指扇病院が隣設しています。 						
特徴的な設備	機械浴の出来る大きな浴室、院内でカットやパーマが出来る美容室があります。					
特徴的な空間	敷地内遊歩道、ふれあい広場、くつろげる談話室、宿泊可能な談話室（和室）があります。					
特徴的な演出	四季を感じていただく為に、雛人形、兜、鯉のぼり、クリスマスツリーを時期に応じて設置しています。					
主な紹介元医療機関	指扇病院					

主な紹介先医療機関	指扇病院		
当病院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • 当院は指扇病院、びわの葉と共同し、急性期医療、リハビリテーション、長期療養、高度な介護と、患者さまの状態に応じた医療をワンストップで提供できる体制を整えております。 • 患者様一人ひとりを自分の家族と思い心のこもった医療を提供します。 • 「手と目、心と技を使ったケアの提供」を心がけ患者様のQOLの向上を目指します。 		
当病院の未来像	2025年、2035年に向けて地域医療構想における当院の役割に対応していくとともに、在宅医療とも連携し、今後も地域の皆様に必要とされる病院として地域貢献していきたいと考えています。		
市民の皆さんへメッセージ	当院には、様々な疾患を抱えながら長期の療養をされる高齢の患者様が多くいらっしゃいます。こうした患者様とご家族が安心して過ごせるよう、医療者の立場から療養生活をサポートすることが、私どもの役割です。様々なスタッフによる治療体制と、心を重視したケアで「この病院を選んでよかった」と言ってもらえるよう家族のように心を込めてお世話します。		
その他			

記載内容に関する 問い合わせ先	指扇療養病院 電話番号：048-623-11
--------------------	---------------------------

病院説明書

病院名	医療法人社団 双愛会 大宮双愛病院					
所在地	さいたま市大宮区堀の内町2-160					
病床数：						
現在（2018年）	一般病床		療養病床		合計病床数	
	56 床		34 床		90 床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	56 床	床	34 床			
↓						
2025年	一般病床		療養病床		合計病床数	
	56 床		34 床		90 床	
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床			
床	56 床	床	34 床			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 現時点では上記の通りですが、今後変更の可能性がります </div>						
診療科目：合計 9 科（内、胃、循、小、外、整、秘、肛、放）						
平均在院日数：19 日			病床稼働率： 81.8 %			
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神	在宅医療
医療	救急	小児	周産期	災害		
病院の特徴：						
<p>外来については、平日だけでなく土曜日も1日診療しています。</p> <p>救急については、救急告示病院として二次輪番体制に参加しています。</p> <p>小児科については、親御さんから頼られる診療を行っています。</p>						
特徴的なケアミックス	急性期病棟と療養病棟を持つケアミックスの病院ですがそれぞれ患者さんに応じた医療、看護、介護、リハビリを提供しています。					
特徴的な直営給食	病院給食は直営方式とし、患者様のニーズに合わせた、きめ細かいメニューをベテランスタッフが提供しています。					
特徴的な						
主な紹介元医療機関	自治医大		さいたま赤十字			
主な紹介先医療機関	自治医大		さいたま赤十字			

当病院の現状	<ul style="list-style-type: none"> • 開院後、約60年が経ちますが、自治医大等の三次救急医療機関や地域の医療機関との連携を密にしながら、地域住民の皆様の医療ニーズに対応できるよう努めています。 • 訪問看護事業所、居宅支援事業所も併設していることから在宅の患者さんの支援にも力を入れています。 • 建物が老朽化してきているので、建替えと新たな病院機能についての検討を始めました。
当病院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> • 急性期病床と療養病床を持つケアミックスの病院として、地域の方々が住み慣れた地域で安心していつまでも暮らしていけるよう支援していきます。 • そのためには、地域の医療機関や介護施設等と一層の連携を図りながら地域包括支援を目指していきます。 • 二次救急医療は継続していきます。 • 病院の建替えを行いサービスの向上に努めます。
市民の皆さんへメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> • 「親切的な医療と和」を基本理念として、今後とも地域の皆様から信頼される医療機関を目指していきます。 • 救急医療については、診療科等が限られますが、迅速に対応できるよう努めていきます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 病院の機能や果たすべき役割等については、引き続き検討を行っていきます。

記載内容に関する 問い合わせ先	大宮双愛病院 総務 電話番号：048-643-1290
--------------------	--------------------------------

病院説明書

病院名	医療法人社団弘象会東和病院				
所在地	さいたま市緑区東浦和 7-6-1				
病床数：	48 床				
現在（2018年）	一般病床		療養病床		合計病床数
	48 床		0 床		48 床
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床		
床	48 床	0 床	0 床		48 床
↓					
2025年	一般病床				合計病床数
	48 床				48 床
高度急性期病床	急性期病床	回復期病床	慢性期病床		
0 床	48 床	0 床	0 床		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> 昭和53年上田医院開設後、平成12年増床48床となり同時に東和病院に名称変更して現在に至る。 </div>					
診療科目：合計 5 科（ 整形外科・内科・外科・皮膚科・リハビリ科）					
平均在院日数： 25.1 日			病床稼働率： 92 %		
政策	がん	心筋梗塞	脳卒中	糖尿病	精神
医療	救急	小児	周産期	災害	在宅医療
病院の特徴：当院の基本方針は、医業の公共性に鑑み、地域社会において傷病者のニーズに応ずる医療サービスを提供し、もって、傷病者の治療、疾病の予防及び地域住民の健康の増進に寄与する。					
特徴的な診察	乳腺担当医師が、乳腺診察を行います 設備として、マンモグラフィー・超音波診断器				
特徴的な検査	睡眠時無呼吸検査・診断治療 DEXA（精密骨密度）検査				
特徴的な検査	内科循環器医師による、心エコー・頸部エコー検査				
主な紹介元医療機関	さいたま自治医大	さいたま市立病院			
主な紹介先医療機関	さいたま自治医大	さいたま市立病院		JCHO埼玉メディカルセンター	

当病院の現状	<p>内科（循環器・内分泌）・整形外科の診療は月曜～土曜の診察は対応しています、入院は病病連携を行い、又、介護施設入居者の急病対応受入に対応している。</p> <p>胃内視鏡検査・大腸内視鏡検査は予約にて月曜～土曜午前検査体制を整えています。</p> <p>H29年7月～H30年6月の1年間での救急搬送受入は185件です。</p>
当病院の未来像	<p>第6次医療整備計画で回復期増床の計画を進めていましたが、さいたま市圏内での必要病床数が、新規病院の許可病床数が含まれている為、県からは0床回答となり2025年の将来像が白紙状態となった。</p> <p>緑区・隣接の川口地区での当病院の機能役割としては、回復期病棟及び地域包括ケア病棟が必要と考えています、実現に向けて、第2次救急医療機関や亜急性期体制を整えていく。リハビリスタッフを充実させてフレイルの進行からの脱却を行い、健康長寿をめざす。</p> <p>（フレイルとは加齢とともに運動機能の低下・生理機能の低下をきたし、活動が低下した状態）</p>
市民の皆さんへメッセージ	<p>「健康長寿」を合言葉に患者様に医療を提供してまいります。</p>
その他	<p>その他の医療設備：MRI・CT・ABI（血管年齢）</p>

記載内容に関する問い合わせ先	<p>東和病院 連携担当</p> <p>電話番号：048-873-8621</p>
----------------	---

第6次計画に基づく病院整備計画一覧

資料5

医療圏	医療機関	所在地	承認 病床数	医療機能別内訳		開設(予 定)年月	開設済 病床数	未開設 病床数
					病床数			
さい たま	自治医科大学附属 さいたま医療センター	大宮区	23	救命救急	20	H31.3	20	0
				NICU	3		0	3
	西部総合病院	桜区	8	在宅医療	8	H31.6	0	8
	さいたま市立病院	緑区	40	緩和ケア	20	H32.1	0	20
				救命救急	20		0	20
岩槻南病院	岩槻区	6	急性心筋梗塞	6	H32.5	0	6	

整備計画報告書の説明者一覧

	所属	役職
1	自治医科大学附属さいたま医療センター	センター長
2	西部総合病院	理事長
3	さいたま市立病院	院長
4	岩槻南病院	院長

整備計画報告書の説明の順番について

※計画上の開設予定年月順となっております。

- 1 自治医科大学附属さいたま医療センター
- 2 西部総合病院
- 3 さいたま市立病院
- 4 岩槻南病院

第6次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：自治医科大学附属さいたま医療センター
- 2 所在地（開設予定地）：〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847
- 3 整備計画（増床）病床数：23床
（救急病床10床、ICU10床、NICU3床）

4 スケジュール

・救急病床10床

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成28年12月
2	建築（着工）	平成28年12月
3	建築（竣工）	平成29年 4月
4	医療従事者の確保	平成 年 月
5	使用許可（医療法）	平成29年 5月
6	開設（増床）	平成29年 5月

・ICU10床

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成29年 1月
2	建築（着工）	平成29年 1月
3	建築（竣工）	平成29年 7月
4	医療従事者の確保	平成 年 月
5	使用許可（医療法）	平成29年 8月
6	開設（増床）	平成29年 8月

・NICU3床

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 年 月
2	建築（着工）	平成 年 月
3	建築（竣工）	平成 年 月
4	医療従事者の確保	平成 年 月
5	使用許可（医療法）	平成 年 月
6	開設（増床）	平成 年 月

5 整備方針、目標（救急病床10床、ICU10床）

- 病床整備並びに救命救急センターの開設により、さいたま保健医療圏をはじめ、県央保健医療圏及び利根保健医療圏の重症患者（二次救急患者及び三次救急患者）の受け入れ対応を可能にする。
- 埼玉県内の救急医療体制の安定化の一役を担うべく、平成28年4月に県内8番目となる救命救急センターの指定を受け、平成29年12月からはドクターカーの運用も開始した。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
南館2階 A病棟	10床	高度急性期		
	一般療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
ICU・CCU	10床	高度急性期		
	一般療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1 特定集中治療室管理料1	
診療科 救急科をはじめとする全ての診療科（標榜診療科20科）				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】 （平成28年1月から12月まで） 救急車受入台数 7,750件		【増床後】 （平成30年1月から12月まで） 救急車受入台数 9,440件（+1,690件） ドクターカー出動件数 195件		
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）				
【増床前】 さいたま市4医師会と病診連携推進の会を定期的に開催し、顔の見える連携関係の構築を行った。		【増床後】 増床前の取り組みに加え、平成30年度より596の地域の医療機関との更なる連携促進と強化のために「医療連携協力施設認定」制度を開始した。		

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）
（平成30年12月実績）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
救命救急センター	20床	高度急性期	2.1日	91.0%
	一般療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1 救命救急入院料1	

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
I C U ・ C C U	22 床	高度急性期	3.9 日	86.7%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1 特定集中治療室管理料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
E I C U	8 床	高度急性期	4.3 日	87.5%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1 救命救急入院料 4	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
南館 2 階 A 病棟	10 床	高度急性期	6.9 日	100.3%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
診療科 救急科をはじめとする全ての診療科（標榜診療科 20 科）				
診療実績 ○救急車受入れ台数 855 件、ドクターカー出動件数 24 件、手術件数（定例＋緊急）598 件、外来患者数（新来延数＋再来延数）28,994 人、在院患者延数 16,619 人 ○三次救急の応需率が平成 30 年 7 月から 9 月までの 3 ヶ月連続して 100%を達成。				

7 医療（介護）連携における課題、問題点

- 高度・急性期を脱した患者の後方連携先の確保
- 高度急性期などでも長期療養の患者がおり、重症度、医療・看護必要度に応じて回復期や慢性期、在宅医療などへ分担を行うことが必要。退院後の生活支援も含めたフォローができる行政側のコーディネーターが不可欠
- 超高齢化に伴い、重症患者、合併症を有する患者や終末期の患者など一般的に病院が受入れを忌避するような患者への対応
- 高度急性期など医療機関の機能分担について患者への理解を促進する必要
- 急性期疾患を持つ精神疾患及び認知症患者への対応

第6次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：医療法人聖仁会西部総合病院
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県さいたま市桜区上大久保 884 番地
- 3 整備計画（増床）病床数： 8 床
（医療機能別内訳：回復期（地域包括ケア） 8 床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 30 年 1 月
2	建築（着工）	平成 31 年 3 月
3	建築（竣工）	平成 31 年 5 月
4	医療従事者の確保	確保済
5	使用許可（医療法）	平成 31 年 5 月
6	開設（増床）	平成 31 年 6 月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

当院は、急性期病床 52 床・地域包括ケア病床 40 床・回復期リハビリテーション病床 56 床・医療療養病床 120 床の機能を有するケアミックス病院として、近隣急性期基幹病院からの治療後患者（ポストアキュート）及び地域の病医院や介護施設等の在宅や要介護状態にある患者（サブアキュート）の受入を積極的に行うとともに、2次救急輪番体制に参加し、24 時間の救急受入を行っております。

地域包括ケア病床は、平成 28 年 2 月にさいたま市内で最初に開設し地域の多様なニーズに応えるべく、院内急性期病棟からの転棟だけでなく、外部から入院患者を直接受入れて在宅復帰させるように努めています。

◎地域包括ケア病棟年度別入院経路

入院経路	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
サブアキュート	29.3%	33.4%	35.9%
ポストアキュート （自院急性期病棟からの 転棟比率）	21.2% (13.8%)	20.5% (11.5%)	21.1% (8.4%)
周辺救急（救急車搬送受入等）	9.0%	12.4%	12.8%
レスパイト（短期滞在手術含む）	40.5%	33.7%	30.9%

※平成 30 年度は平成 30 年 4 月から平成 31 年 1 月のデータ

◎地域包括ケア病棟年度別在宅復帰率

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
在宅復帰率	69.5%	81.8%	77.0%

※平成 30 年度は平成 30 年 4 月から平成 31 年 1 月のデータ

○新たに担う役割

当院は、地域における医療と介護の橋渡しの役割を担っていきます。地域包括ケアシステムの一翼を担う病院として、個々の患者の状況に応じた迅速かつ的確な入退院支援機能の強化が必須となっています。当院においては、昨年 4 月から地域医療連携室と医療社会福祉課を統合し患者サポートセンターを設立し、徐々に機能してきています。専任社会福祉士と退院支援看護師を増員し、連携や在宅復帰を促進することにより、在宅復帰率は、急性期病棟 66.4%、回復期リハビリテーション病棟 93.7%、地域包括ケア病棟 75.9%、療養病棟 80.0%となっています。

○将来の方向性

急性期機能としては、運動器疾患や脳疾患患者への対応を強化し、回復期についてはリハビリスタッフの増員（現在 PT：37 名、OT：16 名、ST：4 名、合計 56 名、4 月入職予定 4 名）や訓練室の拡充等、リハビリテーション提供体制を充実します。併せて今後急増する在宅や介護施設等における高齢者の発熱や脱水症・肺炎等、サブアキュート患者に対応する地域包括ケア病棟の拡充が重要と認識しており、8 床の増床申請を致しました。

一方で、2018 年の診療報酬改定において、入院前から「入院生活」「退院」「退院後の生活」を見据えた入退院支援の強化が新設されたことが示すように、患者の意向に沿った早期退院・在宅復帰促進への取組が強く求められるようになりました。患者・家族やケアマネ等の関係者が頻回に集まり、意見交換し、病院と情報を共有することが重要で、当院でも面談の回数や時間が増大しています。しかしながら、当院の患者サポートセンターは、病院 2 階奥の事務室内の総務課に隣接しており、患者アクセスや環境面において良好とはいえず、使用する面談室等が大幅に不足し、大変ご不便をかけているのが現状です。

地域包括ケア病床 8 床増床については、当初の計画通り増床面積確保の為に、平成 31 年 2 月に健診センターを隣接地に移転済みであり、その空いたスペースに 8 床の増床を予定していました。しかし、日々病病・病診連携が進む当地域において、その窓口である入退院支援部門を移転拡充することの優先度合が高いと考え、患者サポートセンターを同スペースに配置する方向で検討しております。

当院は老朽化し手狭となっていることから、今後病院建て替えは必須であり、その際に 8 床の増床をさせていただければと思います。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

- ・発症間もない急性期脳血管疾患や心筋梗塞、若年者のがん疾患等。
- ・精神疾患による危険行動（不穏・暴力等）のある患者。
- ・術後の創部感染による陰圧閉鎖療法（vac 療法）など特殊な治療継続が必要な患者。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3階南病棟	8床	急性期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 2	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
<p>診療科：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・外科・消化器外科 乳腺外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・形成外科・小児科・泌尿器科 眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・麻酔科</p>				
<p>患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）</p>				
<p>【増床前】年間入院患者数 524人 近隣急性期病院から年間 70人（13.4%） 自院から年間 42人（8.0%） 近隣診療所から年間 63人（12.0%） 自院外来（自宅）から年間 264人（50.4%） 特養施設等から年間 85人（16.2%） 訪問診療を行う患者数 年間 357人</p>		<p>【増床後】年間入院患者数 610人 近隣急性期病院から年間 98人（16.0%） 自院から年間 30人（5.0%） 近隣診療所から年間 85人（14.0%） 自院外来（自宅）から年間 287人（47.0%） 特養施設等から年間 110人（18.0%） 訪問診療を行う患者数 年間 400人</p>		
<p>医療（介護）連携見込み 病病連携、病診連携、施設連携が確立されている為に、患者確保は可能と考えている。 連携先：さいたま赤十字病院、さいたま市民医療センター、自治医大さいたま医療センター等、 さいたま市立病院、JCHO 埼玉メディカルセンター、登坂医院、仙波内科、ひかりクリニック、 星内科クリニック、すこやか内科等、あすなろの郷等施設数 30 施設</p>				
<p>【増床前】 ○紹介元：さいたま赤十字病院 さいたま市民医療センター・さいたま市立病院 自治医大さいたま医療センター・三愛病院 JCHO 埼玉メディカルセンター等 登坂医院・仙波内科医院・すこやか内科 星内科クリニック・ひかりクリニック あすなろの郷等施設数 30 施設 ○紹介先： 登坂医院・仙波内科医院・すこやか内科 星内科クリニック・ひかりクリニック あすなろの郷等施設数 30 施設</p>		<p>【増床後】 ○紹介元：さいたま赤十字病院 さいたま市民医療センター・さいたま市立病院 自治医大さいたま医療センター・三愛病院 JCHO 埼玉メディカルセンター等 登坂医院・仙波内科医院・すこやか内科 星内科クリニック・ひかりクリニック あすなろの郷等施設数 30 施設 ○紹介先： 登坂医院・仙波内科医院・すこやか内科 星内科クリニック・ひかりクリニック あすなろの郷等施設数 30 施設</p>		

6 既存病棟の概要 (※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。)

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
急性期病棟 (3階西病棟)	52床	急性期	19.3日	80.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般病棟入院料基本料5	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
地域包括ケア病棟 (3階南病棟)	40床	急性期	28.3日	82.9%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料5	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
回復期リハビリテーション病棟 (2階西病棟)	56床	回復期	66.0日	92.1%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料3	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
医療療養病棟 (2階西・3階東病棟)	120床	慢性期	272.1日	92.9%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料1	
診療科				
内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・外科・消化器外科 乳腺外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・形成外科・小児科 泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・麻酔科				
診療実績				
○手術の実施状況、がん・脳卒中等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など(急性期)				
◎主な診療科の年度別年間手術件数推移				
	診療科	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	整形外科	156件	147件	137件
	外科	62件	71件	53件
	眼科	389件	340件	131件
※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ				
◎整形外科主な術式別年間手術件数推移				
	術式	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	人工骨頭挿入術	18件	13件	16件
	人工関節置換術	26件	26件	18件
	脊髄固定術	17件	11件	18件
	内視鏡下椎間板摘出術	12件	13件	15件
	内視鏡下椎弓切除術	6件	6件	13件
	経皮的椎体形成術	4件	12件	7件
	骨折観血の手術	40件	39件	26件
※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ				

◎外科主な術式別年間手術件数推移

術式	平成28年度	平成29年度	平成30年度
乳腺悪性腫瘍手術	18件	12件	18件
乳腺腫瘍摘出術	5件	5件	6件
ヘルニア手術	10件	12件	17件

※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ

◎眼科主な術式別年間手術件数推移

術式	平成28年度	平成29年度	平成30年度
水晶体再建術	72件	162件	63件
硝子体茎頭微鏡下離断術	22件	13件	5件

※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ

◎年度別月平均救急車受入件数推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
月平均救急車受入件数	51.8件	56.9件	66.7件

※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ

◎急性期病棟重症度、医療・看護必要度推移

病床形態	平成28年度	平成29年度	平成30年度
急性期病床	20.2%	23.0%	31.69%
地域包括ケア病床	21.8%	30.5%	22.92%

※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ

○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、疾患に応じたリハビリテーションの実施状況など（回復期）

◎退院支援・在宅復帰先等年間件数推移

（※回復期リハビリテーション病棟）

退院先等	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自宅	164件(65.3%)	190件(73.1%)	147件(69.8%)
特養・有料老人ホーム	53件(21.1%)	49件(18.7%)	41件(19.4%)
老健	17件(6.8%)	13件(5.0%)	10件(4.7%)
院内他病棟（急性増悪含）	10件(4.0%)	5件(1.8%)	6件(2.8%)
他院（急性増悪）	7件(2.8%)	4件(1.4%)	7件(3.3%)

※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ

◎疾患に応じた入院患者延日数推移

（※回復期リハビリテーション病棟）

疾患別	平成28年度	平成29年度	平成30年度
運動器	10,079人(56.8%)	9,779人(54.0%)	8,291人(53.7%)
脳血管	6,805人(38.3%)	7,616人(42.0%)	6,725人(43.5%)
廃用症候群	869人(4.9%)	727人(4.0%)	434人(2.8%)

※平成30年度は平成30年4月から平成31年1月のデータ

7 医療（介護）連携における課題、問題点

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

自院に回復期リハビリテーション病床や医療療養病床、通所介護や訪問看護・介護ステーションを有しており、急性期病床の出口医療機関については特段の懸念はありませんが、急性期病床から直接在宅へ復帰する患者の対応のために、患者家族や近隣介護施設等との連携確立に資する退院支援機能の拡充が必要と考えております。

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

回復期については、7割くらいの患者が自宅への退院となっており、残りの3割程度については、地域の居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）との連携が確保されております。

慢性期病棟については、医療区分の高い重度慢性期の患者が多く入院しており、在宅復帰の取組について苦慮することも多くなっております。

しかしながら社会福祉士と退院支援看護師等が連携し、在宅復帰の働きかけが行われており、施設のケアマネージャー等との連携強化に努めております。

更なる円滑な退院促進には、入院前からの状況把握や退院検討開始が有効であり、入退院支援を担う患者サポートセンターの拡充に取り組む所存です。

第6次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：さいたま市立病院
- 2 所在地（開設予定地）：さいたま市緑区大字三室 2460 番地
- 3 整備計画（増床）病床数：40 床
（医療機能別内訳：救命救急センター20床、緩和ケア 20 床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 29 年 5 月
2	建築（着工）	平成 29 年 5 月
3	建築（竣工）	平成 31 年 9 月
4	医療従事者の確保	平成 31 年 12 月
5	使用許可（医療法）	平成 31 年 12 月
6	開設（増床）	平成 31 年 12 月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

現在、当院は、さいたま市が運営する唯一の公立病院であり、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、第二種感染症指定医療機関、災害拠点病院等の指定を受けた地域の基幹病院として位置付けられています。

新病院開院後も引き続き、へき地の医療を除く 5 疾病 5 事業の政策医療に取り組み、救急や急性期医療の機能強化を図り、自治体病院としての高度急性期・急性期の医療を提供する役割を果たす予定です。

○新たに担う役割と将来の方向性

当院は、平成 31 年 12 月末の新病院開院に合わせて、既存の医療機能の強化を図るとともに、上記の 40 床に精神病床 30 床を加えた 70 床の増床を予定しています。

具体的な増床の内容については、市内の重症救急患者の受け入れ体制の充実を図るため、救命救急センター20床の新設を行う予定となっています。

次に、市内には、がんの再発等による疼痛などの苦痛を緩和する病床を有する医療機関が 1 か所 22 床しかなく、当院は地域がん診療連携拠点病院としてがん治療に取り組んでおり、20 床の緩和ケア病床を新設します。

また、市内の公立又は公的な総合病院に精神科の病床を有する医療機関は 1 か所 6 床しかなく、さいたま市においては精神科身体合併症に対応する体制整備が喫緊の課題であり、市内の 4 医師会からの要望もあることから、精神科身体合併症に対応する精神病床を 30 床新設する予定となっています。

一方、高度急性期・急性期医療の機能強化としては、手術室やICU・HCUの増設、鏡視下手術やハイブリッド手術等を行う手術室の整備、更にはサイバーナイフの新規導入やリニアックの機器更新による放射線治療の強化及び化学療法室の拡張を図ることとしています。更に、入院前から多職種による安心して入院ができるよう入院中の情報を事前に提供するとともに、地域の関係者と退院後の在宅療養への円滑な移行が可能となるよう連携を図り、切れ目のない患者さんへの支援を行うため、患者支援センターを設置することとしています。また、病棟6床室の廃止、個室の増室等を行うことにより、患者さんの療養環境の向上も図る予定です。

当院は、さいたま保健医療圏の高齢化に伴う医療ニーズの変化や医療技術の進展等に対応することで、今後も患者さんに対し、安全で、安定した高度急性期・急性期の医療を提供し、可能な限り地域で必要な医療を受けることができる、「地域完結型医療の要」としての役割を果たすことを目指しています。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み

救急医療について、現病院では、救急外来が狭隘で、しかも、専用の救急病棟がないといった構造的な問題がある中で、年間7500件にも及ぶ救急搬送患者を受けており、院内における救急医療体制の十分な確立が喫緊の課題であると考えてきました。自治体病院に課せられている救急への取り組みとして、これ以上の救急活動を行うためには、救急医の配置、救命救急センターの設置が是非とも必要であると認識しています。更に、現在、概ね、緑区、浦和区、南区、見沼区の4区から主に救急搬送されていますが、現病院の施設や救急医療体制から搬送依頼の2~3割を断らざるを得ない状況下にあります。平成31年12月末に開院する新病院では、専用の救命救急センター20床を認可されたことから、これに伴い救命救急センターを開設し、救急医療の充実を図ることを予定しています。

現在、通院で、がんの痛み等の症状を和らげることが難しい患者さんへの対応は一般病棟で対応していることから、がんの再発による疼痛などの苦痛の緩和を目的とした緩和ケア病棟を設置することとしました。患者さんの体や心の苦痛を出来るだけ和らげることを目指しています。

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
E・ICU（救命救急センター）	6床	高度急性期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	救命救急入院料2	
E・HCU（救命救急センター）	14床	高度急性期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	救命救急入院料1	
緩和ケア病棟	20床	急性期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	緩和ケア病棟入院料2	

<p>診療科</p> <p>救急科、緩和ケア科</p>	
<p>患者の受入見込み</p> <p>(※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)</p>	
<p>【増床前】</p> <p>(救急患者)</p> <p>平成30年(1月～12月)の救急患者は16,973人でした。そのうち救急搬送患者は7,365人で、入院となった患者は3,004人です。</p> <p>救急患者のうち重症患者及びCPAの緊急度の高い患者は885人でした。平成29年の844人に比べて5%増となっています。</p> <p>一方、平成30年に救急隊からの重症患者の受入要請に対して、ベッド満床・処置困難・患者対応中等の理由により対応ができなかった件数は129件となっています。</p>	<p>【増床後】</p> <p>(救命救急病棟)</p> <p>増床後の患者受入見込みは、①緊急度の高い患者885人、②対応できていない重症患者129人の実績に加え、③当院の所在地である緑区、近接する浦和区・南区・見沼区から市外や他区に搬送されている重症患者450人程度と報告されている実績を考慮すると、救命救急センター開設時は、病床利用率は70%前後で、取り扱う患者数は1,500～1,700人程度になるものと見込んでいます。</p> <p>一方で、緑区・浦和区・南区・見沼区の4区の人口は約64万人で、この人口は市全体の約49%を占めており、そのうち60歳以上は約27%となっています。平成30年に当院で扱った重篤な患者さんは、70%以上が60歳以上となっています。</p> <p>こうした状況を踏まえますと、さいたま医療圏の救急需要は、高齢化とともに、更に高まることが予測され、今後増加する救急患者に十分対応できる救急医療体制を構築(救命救急センター増設等)していく必要があると考えています。</p> <p>(緩和ケア病棟)</p> <p>現在、緩和ケアチームが介入している患者さんは、平成30年度は228人います。</p> <p>緩和ケア病床20床では、現在の患者数で病床利用率90%の想定となり、また、20床では十分と言えず、他院からの転院患者も考慮しますと、入院</p>

	患者数は増え、効率的な病床運用に努める必要があると考えています。
医療（介護）連携見込み (※具体的に記入してください。)	
【増床前】 (がん患者) 現在、緩和ケアを希望される患者さんについては、主に下記の近隣の医療機関等を紹介しています。 ・ 彩の国東大宮メディカルセンター ・ 上尾中央第二病院 ・ 埼玉協同病院 ・ はなみずきの家（在宅型ホスピス） ・ 医心館（医療型有料老人ホーム）	【増床後】 (緩和ケア病棟) 増床後は、当院での対応を基本としますが、市内及び近隣の医療機関等との連携を継続します。

※さいたま市の人口は平成31年2月1日現在

※③は、さいたま市消防局警防部救急課の速報値による

6 既存病棟の概要 (※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。)

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
東2階病棟	29床	高度急性期	10.3日	95.6%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
東3階病棟	46床	高度急性期	7.1日	67.9%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
東4階病棟	45床	急性期	7.7日	64.7%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
東5階病棟	47床	急性期	9.5日	87.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
東6階病棟	41床	急性期	16.4日	87.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
西2階病棟	47床	急性期	6.0日	66.8%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	小児入院医療管理料2	

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
西3階病棟	49床	急性期	8.9日	83.1%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
西4階病棟	51床	高度急性期	12.0日	79.3%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
西5階病棟	47床	高度急性期	14.2日	80.7%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
西6階病棟	34床	高度急性期	9.3日	87.3%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
ICU病棟	5床	高度急性期	2.9日	63.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	特定集中治療室管理料3	
西3階HCU病棟	4床	高度急性期	3.0日	96.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	ハイケアユニット入院医療管理料1	
西5階HCU病棟	4床	高度急性期	3.3日	96.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	ハイケアユニット入院医療管理料1	
西6階HCU病棟	8床	高度急性期	5.8日	96.3%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	ハイケアユニット入院医療管理料1	
NICU病棟	12床	高度急性期	9.9日	99.7%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	新生児特定集中治療室管理料1	
GCU病棟	21床	高度急性期	17.5日	74.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	新生児治療回復室入院医療管理料	
さくらそうA病棟	30床	急性期	14.3日	67.7%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	
さくらそうB病棟 (感染症含む)	27床	急性期	6.4日	42.1%
	一般(感染症含む)	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料1	

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
ひまわり病棟	20床		69.7日	43.1%
	結核	入院基本料・特定入院料	7対1入院基本料	

診療科

内科、消化器内科、精神科、神経内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、消化器外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

診療実績

【手術の実施状況】

- ・手術総数 588 件 ・全身麻酔の手術総数 391 件
- ・人工心肺を用いた手術 3 件 ・胸腔鏡下手術 5 件 ・腹腔鏡下手術 45 件

【がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況】

- ・悪性腫瘍手術 49 件 ・病理組織標本作成 260 件
- ・術中迅速病理組織標本作成 6 件 ・放射線治療 53 件 ・化学療法 360 件
- ・がん患者指導管理料 1 件 ・抗悪性腫瘍剤局所持続注入 2 件
- ・超急性期脳卒中加算 1 件 ・脳血管内手術 3 件 ・経皮的冠動脈形成術 18 件
- ・入院精神療法（Ⅰ）14 件 ・認知症ケア加算 1,250 件

【重症患者への対応状況】

- ・ハイリスク分娩管理加算 166 件 ・持続緩徐式血液濾過 18 件
- ・大動脈バルーンポンピング法 1 件 ・人工心肺 3 件 ・吸着式血液浄化法 2 件

【救急医療の実施状況】

- ・院内トリアージ実施料 20 件 ・夜間休日救急搬送医学管理料 79 件
- ・救急医療管理加算 1 及び 2 1,688 件 ・在宅患者緊急入院診療加算 7 件
- ・救命のための気管内挿管 19 件 ・非開胸的心マッサージ 9 件
- ・カウンターショック 5 件

【全身管理の状況】

- ・中心静脈注射 742 件 ・呼吸心拍監視 2,228 件 ・酸素吸入 1,716 件
- ・観血的動脈圧測定（1時間を超えた場合）52 件
- ・ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄 880 件
- ・人工呼吸（5時間を超えた場合）434 件 ・人工腎臓、腹膜灌流 49 件

※平均在院日数・病床利用率は、平成 30 年 4 月から平成 30 年 12 月実績

※診療実績は、平成 30 年病床機能報告実績の 6 月診療分であり 7 月審査分

7 医療（介護）連携における課題、問題点

地域医療支援病院としての登録医療機関は 431 施設（平成 31 年 2 月 18 日現在）と なっています。市内及び近隣市の回復期及び慢性期医療機関との連携を図り、急性期治療後も継続した治療が必要な患者の転院を円滑に行うことができます。

介護との連携については、ケアマネージャーと定期的に情報交換を行うことで連携を図るほか、介護老人保健施設や有料老人ホームなど公共・民間を問わず情報を収集する

ことで円滑な退院につなげています。

在宅療養への移行については、往診医や訪問看護ステーションと連携するとともに当院看護師による退院後訪問を行うことで円滑に行えています。

課題・問題点を挙げると、終末期医療に対応できる医療機関等が少ないため、転院、退院の調整が困難となっています。また、社会的あるいは経済的な困難を有する患者が増加していることから、回復期、慢性期、在宅療養等にかかわらず転院、退院の調整が困難となるケースが増加傾向にあります。

第6次埼玉県保健医療計画に基づく病院整備計画の整備計画報告書

- 1 病院名：医療法人社団 幸正会 岩槻南病院
- 2 所在地（開設予定地）：さいたま市岩槻区黒谷 2256
- 3 整備計画（増床）病床数： 6床
（医療機能別内訳：急性心筋梗塞に対応する高度専門医療 6床）
- 4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 30年 12月
2	建築（着工）	平成 31年 3月
3	建築（竣工）	平成 32年 5月
4	医療従事者の確保	平成 32年 5月
5	使用許可（医療法）	平成 32年 5月
6	開設（増床）	平成 32年 5月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

増床する事により、高齢化し需要が増えると言われている循環器疾患について急性心筋梗塞から心不全まで幅広い治療体制と断らない救急医療を目指す。また透析ベッドを増床することで、地域の透析患者さんのニーズに応える。

○新たに担う役割

循環器専門研修関連施設から循環器専門研修施設を目指し、認定されることにより若手医師の育成にも力を入れる。

○将来の方向性

急性心筋梗塞に対応する救急医療を含めた急性期医療をベースに、今後は不整脈、心不全などを含め、循環器専門病院として急性期から心臓リハビリ、慢性期疾患（在宅医療）まで幅広い医療を展開していきたい。

透析患者さんの循環器疾患にも対応すると共に、腎臓リハビリにも力を入れたい。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

慢性心不全患者さんの在宅医療を含めた慢性期疾患へのアプローチ
介護との地域連携

【増床病棟】（※有床診療所についても準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
循環器病棟	30 床	急性期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
診療科 循環器内科 腎臓内科				
患者の受入見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。）				
【増床前】急性期 24 床 外来患者数 43,000 人 入院患者数 1,300 人 透析実施回数 18,000		【増床後】急性期 30 床 外来患者数 51,600 人 入院患者数 1,800 人 透析実施回数 28,200		
医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）				
【増床前】		【増床後】		

6 既存病棟の概要（※有床診療所についても既存病床がある場合は準じて記載してください。）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
循環器病棟	24 床	急性期	3.31 日	54%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		

診療科

循環器内科、腎臓内科

診療実績（平成 30 年実績）

カテーテル検査 820 件 カテーテル治療 389 件

心臓リハビリテーション（外来患者 5,146 名 入院患者 1,485 名）

CPX 検査数 522 件

重症度・必要度（看護必要度 I 従来方式 平均 40.2%）

救急車受け入れ台数 635 件（内 CPA 48 件）

7 医療（介護）連携における課題、問題点

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

以前よりは改善されているが、重症化した脳神経疾患や消化器疾患など、
専門分野以外の疾患に対する（特に高齢者）の「出口」となる連携病院が少ない。

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネジャーとの連携状況、待機患者の状
況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

医療機関、ケアマネジャーとの連携は良好であるが、
老人介護施設への入所に関しては時間がかかる場合があり、課題が残る。

平成30年度の地域医療構想 調整会議の振り返りについて

保健福祉局保健部地域医療課

平成31年3月13日



さいたま市地域医療構想調整会議の概要

1.目的

埼玉県地域医療構想を推進するために、県内の10構想区域で、目指すべき医療提供体制（機能分化・連携等）について関係者間で協議や情報共有を行う

2.設置

- 埼玉県から、さいたま保健医療圏（構想区域）における運用について、本市に委託されている
- さいたま地域保健医療協議会の下に、専門部会として、平成29年4月3日に設置

3.参加者

医療関係者（市内医師会、市内主要病院等）

4.平成29年度の実績

平成29年度：4回開催

5.平成29年度の主な議論

- より質の高い医療提供体制を実現するため、医療機能の分化・連携等に係る事項について議論
- 病床機能報告制度を用いた分析について、埼玉県より説明
- 自院の特徴や将来像について、医療機関がプレゼンテーション

今年度の実施状況

【第1回（平成30年8月22日）】

- 地域医療構想・病床機能報告等について
 - ・ 埼玉県地域医療構想の概要について
 - ・ 地域医療構想会議の進め方について
 - ・ 病床機能報告データを用いた分析結果について
 - ・ さいたま保健医療圏における平成29年度病床機能報告の結果の説明について
 - ・ 地域医療介護総合確保基金について
- 昨年度のさいたま市地域医療構想調整会議の振り返りについて
- 今年度のさいたま市地域医療構想調整会議の進め方について

【第2回（平成30年12月12日）】

- 病院プレゼンテーションについて
(埼玉県立小児医療センター、順天堂大学医学部附属埼玉国際先進センター（仮称）、さいたま岩槻病院、カリヨンの杜、大宮共立病院、岩槻中央病院、わかくさ病院)
- 有床診療所（産婦人科）の開設について

【第3回（平成31年3月13日）】

- 病院プレゼンテーションについて
(大宮中央総合病院、指扇療養病院、大宮双愛病院、東和病院)
- 第6次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の報告について
(自治医科大学附属さいたま医療センター、西部総合病院、さいたま市立病院、岩槻南病院)
- 平成30年度の地域医療構想調整会議の振り返りについて

病院説明書の作成・プレゼンテーションの実施状況

病院説明書の作成・プレゼンテーションの実施状況

1	秋葉病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)	19	埼玉精神神経センター	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
2	石川病院	説明書(平成29年度第2回)	20	さいたま赤十字病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
3	岩槻中央病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第2回)	21	さいたま北部医療センター	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
4	岩槻南病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)	22	埼玉メディカルセンター	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)
5	宇治病院	-	23	彩の国東大宮メディカルセンター	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
6	大宮共立病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第2回)	24	指扇病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
7	大宮双愛病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第3回)	25	指扇療養病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第3回)
8	大宮中央総合病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第3回)	26	三愛病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)
9	大和田病院	-	27	自治医科大学附属さいたま医療センター	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
10	カリヨンの杜	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第2回)	28	西部総合病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)
11	川久保病院	説明書(平成29年度第2回)	29	東和病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第3回)
12	共済病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)	30	富田病院	-
13	クリニカル病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)	31	西大宮病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)
14	さいたま岩槻病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第2回)	32	林病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)
15	さいたま記念病院	-	33	望星病院	説明書(平成29年度第2回)
16	埼玉県立小児医療センター	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第2回)	34	丸山記念総合病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)
17	さいたま市民医療センター	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第3回)	35	わかくさ病院	説明書+プレゼンテーション (平成30年度第2回)
18	さいたま市立病院	説明書+プレゼンテーション (平成29年度第2回)			

第6次計画における未整備病床の報告状況

病院名		病床の内訳	整備予定に関する プレゼン実施
1	岩槻南病院	急性心筋梗塞:6床	○
2	さいたま市立病院	緩和ケア:20床 救命救急:20床	○
3	自治医科大学附属さいたま医療センター	NICU:3床	○
4	西部総合病院	在宅医療:8床	○
5	順天堂大学医学部附属埼玉国際 先進センター(仮称)	高度専門等;800床	○ (平成30年度第2回)

新公立病院改革プラン・公的医療機関等2025プランに関する状況

新公立病院改革プラン		県への提出状況	構想会議でのプレゼン実施
1	埼玉県立小児医療センター	○	○
2	さいたま市立病院	○	○

公的医療機関等2025プラン		県への提出状況	構想会議でのプレゼン実施
1	地域医療機能推進機構 さいたま北部医療センター	○	○
2	地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	○	○
3	さいたま赤十字病院	○	○
4	社会医療法人 さいたま市民医療センター	○	○

(参考)さいたま市地域医療構想調整会議〈委員名簿〉

	所属	職名	氏名
1	一般社団法人浦和医師会	会長	登坂 英明
2	一般社団法人大宮医師会	会長	松本 雅彦
3	一般社団法人さいたま市与野医師会	会長	森 泰二郎
4	一般社団法人岩槻医師会	会長	林 承弘
5	さいたま赤十字病院	院長	安藤 昭彦
6	自治医科大学附属さいたま医療センター	センター長	百村 伸一
7	さいたま市民医療センター	院長	加計 正文
8	医療法人社団協友会彩の国東大宮メディカルセンター	院長	藤岡 丞
9	地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター	院長	黒田 豊
10	地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター	院長	吉田 武史
11	医療法人聖仁会西部総合病院	理事長	西村 直久
12	医療法人慈正会丸山記念総合病院	理事	丸山 泰幸
13	さいたま市立病院	院長	窪地 淳
14	学校法人順天堂(オブザーバー)	学長	新井 一